

令和5年度平戸市一般会計補正予算（第10号）-公衆便所維持管理事業-【1,116万円 **減額**】

浦の町公衆便所の解体を取り止め、解体経費を減額補正

事業内容

浦の町に設置してある公衆便所は、地元での管理が困難となり、現在は市が管理している。

施設の老朽化などにより令和5年度中の解体を予定していたが、解体前の調査を進める中で、地元から施設存続の要望があったため、解体工事を取り止め、最低限の修理を行うこととし、解体経費にかかる予算を減額するもの。



委員会での主な論議（総務厚生委員会）

- Q 地元で管理することを条件として解体を取り止めたのか。また、近くに交流広場などの公衆便所があることから、浦の町公衆便所の利用状況を把握し、周辺の公衆便所も含めた施設のあり方を整理すべきではないか。
- A 地元区長とは地区や周辺の協力を得ながら施設を管理することを前提に話をしてきた。当該施設は、設置当初から周辺環境や地域の状況が変化していることから、将来的な解体も視野に入れながら、今後、地元と協議していきたい。

平戸市立学校施設の開放に関する条例の一部改正について

中学生が所属する地域クラブの活動に対し、学校施設の使用料を免除

提案理由

中学生が所属する地域クラブの活動に対して、学校施設の使用料を減免することにより、学校部活動と変わらない環境を提供することで、中学校部活動の地域移行を推進するため、条例の一部を改正するもの。

委員会からの意見（産業建設文教委員会）

- Q 条例の中の条文には、学校施設の利用に関し「減額または免除」と書かれているが、中学生が所属する地域クラブ活動は減額ではなく免除としてほしい。
- A 現在の中学校部活動は学校教育のため、学校施設使用料は発生していない。部活動が地域移行することで社会体育となるが、学校部活動と同じ環境を提供するため、中学生が所属する地域クラブ活動については、使用料を「免除」とするよう考えている。



令和6年1月臨時会（1月30日）

令和6年3月定例会（3月4日～22日）

1月臨時会

令和5年度平戸市一般会計補正予算（第9号）-庁用自動車整備事業-【570万円 **増額**】

これからの時代を見据え、環境に配慮した車種選定を

事業内容

議会議長車が購入後13年を経過しており、車両に不具合などが見られ安全性が不安視されるため、早急に買い替えが必要な状況となった。

このような状況を踏まえ、令和5年度内に納車可能な新古車・中古車のうち、他市の状況も参考に現在の議長車と同等クラスで検討した結果、ハイブリットのセダン車を選定することとしている。



歴代7人の議長が使用した議長車

委員会からの意見（総務厚生委員会）

買い替えについては必要性があり容認すべきものだが、車種選定については、これからの時代を見据え、環境に十分配慮した燃費がいい車種とするなど、慎重に検討をすること。

提出された附帯決議（案）

世の中のSDGsやゼロカーボン化という流れを踏まえ車種の再検討を行うこと。

※採決の結果、附帯決議（案）は**不採択**となりました。

令和5年度平戸市一般会計補正予算（第9号）-低所得者支援及び定額減税を補足する給付金事業-**物価高の影響が大きい低所得世帯に対し迅速に支援**【1億4,780万円 **増額**】

事業内容

物価高に切実に苦しんでいる低所得世帯に対して、物価高騰対策にかかる支援を届けるため、令和5年度の「（住民税）均等割のみ課税世帯」などに対して1世帯あたり10万円、低所得者の子育て世帯への支援として、「均等割非課税者のみで構成される世帯、均等割のみ課税世帯」に対して18歳以下の子ども1人あたり5万円を給付するもの。

委員会での主な論議（総務厚生委員会）

- Q 本事業の給付対象者は市がすべて把握して通知するのか。それとも対象となるか本人が判断して申請することになるのか。
- A 対象となる世帯には市から通知する。ただし、世帯の扶養状況などについて申請してもらい、申請内容を確認してから支給することになる。

委員会からの意見

担当部署において、給付対象者の申請漏れがないように努めること。

1月臨時会委員長報告

※内容についての詳細は、市ホームページまたは担当課（福祉課総務班 22-9130）にてご確認ください。

